

総合研究所
年次報告
(2013年度)

総合研究所プロジェクト研究

1. 地域政策プロジェクト研究

<p>■メンバー</p> <p>小林甲一（代表）、伊沢俊泰、大石邦弘、十名直喜、水田健一、水野晶夫、村上寿来、小川文雄、三井 哲、山下匡将、木村光伸</p>	
<p>I. 活動概要</p> <p>この「地域政策プロジェクト研究」は、2007年度から1)「地域」に焦点をあて、その政策課題について総合的視点と実践的立場から研究することで大学の「地域連携」と「地域貢献」に寄与する、2)「瀬戸市およびその周辺地域」において本学が営々と築いてきた地域に関する研究の成果と地域貢献・地域連携の実績を継承する、3)「EXPO2005プロジェクト研究」のスタンスや成果を基本的に継承しつつ地域の新たな政策課題に関する研究を重視する、という趣旨・目的のもと続けてきた5年間の実績と成果を踏まえ、地域の新たな政策課題にアプローチするために、2012年度から新たにスタートした。以下は、研究関心をもつ主な分野である。</p> <p style="text-align: center;">〈地域政策プロジェクト研究の関心分野〉</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td> <p>A. 地域経済：コミュニティビジネス，中心市街地活性化，陶磁器産業，産業・起業支援，就業支援，観光振興など</p> <p>B. 地域福祉：高齢者福祉，地域包括支援センター，障害者福祉，子育て支援，地域保健・健康づくり支援など</p> <p>C. 地域行政：総合計画，公共経営，行政・政策評価，行財政改革，環境保全，域内交通システムなど</p> <p>D. 地域づくり：まちづくり，コミュニティ形成，市民参加，NPO，社会教育・生涯学習，文化振興など</p> </td> </tr> </table>	<p>A. 地域経済：コミュニティビジネス，中心市街地活性化，陶磁器産業，産業・起業支援，就業支援，観光振興など</p> <p>B. 地域福祉：高齢者福祉，地域包括支援センター，障害者福祉，子育て支援，地域保健・健康づくり支援など</p> <p>C. 地域行政：総合計画，公共経営，行政・政策評価，行財政改革，環境保全，域内交通システムなど</p> <p>D. 地域づくり：まちづくり，コミュニティ形成，市民参加，NPO，社会教育・生涯学習，文化振興など</p>
<p>A. 地域経済：コミュニティビジネス，中心市街地活性化，陶磁器産業，産業・起業支援，就業支援，観光振興など</p> <p>B. 地域福祉：高齢者福祉，地域包括支援センター，障害者福祉，子育て支援，地域保健・健康づくり支援など</p> <p>C. 地域行政：総合計画，公共経営，行政・政策評価，行財政改革，環境保全，域内交通システムなど</p> <p>D. 地域づくり：まちづくり，コミュニティ形成，市民参加，NPO，社会教育・生涯学習，文化振興など</p>	
<p>II. 2013年度活動報告</p> <p>2013年度は、再スタートの2年目であり、これまでと同様に「持続可能な地域社会づくりに向けて」という基本理念に立ち、上記のような基本的な関心分野を踏まえながら、調査研究の新たな方向や具体的なプランの新たな展開を定着させていった。なかでも、2013年度には、以下のような5つのテーマで研究・調査活動をおこなった。</p> <p>1. 地域政策に関する実践的連携と地域づくりに関する総合的な調査研究</p> <p>瀬戸キャンパス周辺の地域、すなわち愛知県瀬戸市や岐阜県多治見市、および名古屋経済圏における地域政策と深く連携しながら、上記の関心分野に関わる地域づくりの展開について総合的な調査研究をおこなっている。2013年度は、特にA. 地域経済：陶磁器産業，産業・</p>	

起業支援、就業支援および観光振興、B. 地域福祉：高齢者福祉、地域包括支援センターおよび子育て支援、C. 地域行政：総合計画、公共経営および行政・政策評価、そしてD. 地域づくり：まちづくり、コミュニティ形成および社会教育・生涯学習の分野で積極的な活動を展開した。

2. 地域の産業支援・観光振興に関する研究

これまでと同様に、岐阜県多治見市の第4次「産業・観光振興計画」の進行管理に関与するなかで、地域に根づき、地域がもつ価値を生かす産業・観光振興策のあり方について研究をおこなった。また、現在、瀬戸市が、「道の駅・瀬戸しなの」の開設にともなうアグリビジネス振興の一環として取り組んでいる「瀬戸の豚：地域ブランド化戦略」の策定に関与するなかで、瀬戸市の産業支援・観光振興に関わる地域づくりの進むべき方向について研究をおこなった。

また、以下の5. でもふれるように、2013年度は、このプロジェクト研究に係わる瀬戸市と多治見市に共通する地場産業としての「陶磁器産業」に焦点を当て、陶磁器産業の振興と支援、ならびにそれによる地域活性化に向けた取り組みについても調査研究をおこなった。

3. 地域の起業支援・就業支援に関する研究

瀬戸市においては、これまでと同様に「せと・しごと塾」に対する支援を継続しておこない、なかでも、大学生や若い世代に向けた新たな事業展開の方向や内容について調査研究をおこなっている。また、多治見市における「産業・観光振興計画」の進行管理との関連では、「多治見市産業支援センター」の事業内容の見直しに関する調査研究もおこなった。

4. 「地域包括ケア」に関する研究・調査

2013年度は、特に、瀬戸市における「地域包括ケア」の展開に関する調査研究に具体化させた。とりわけ、①「地域包括支援センター」の取り組み、②地域力向上と地域包括ケア推進の協働、③医療と介護の連携、および④地域における高齢者見守りシステムの構築に重点をおいた調査研究をおこなっており、今後は、それらの研究成果をもとに、地域における保健・医療・福祉の連携や「地域包括ケア」の構築に向けた具体的な政策提言をおこなっていききたい。

5. 「名古屋学院大学地域政策研究フォーラム」の開催と地域政策研究の促進

2013年度には、「陶磁器産地の地域活性化を考える―瀬戸市と多治見市の取組から―」をテーマに“名古屋学院大学地域政策研究フォーラム”第6回を開催し、地場産業としての陶磁器産業の構造改革を進めるとともにそれ以外のさまざまな産業振興・産業支援に取り組んできた両市を事例に陶磁器産地がその特性を生かしてどのような地域活性化に取り組んでいるかを知り、産業振興による地域づくりのあり方について考えた。詳細は以下のとおりである。

〈地域政策研究フォーラム06〉

* テーマ：陶磁器産地の地域活性化を考える

―瀬戸市と多治見市の取組から―

*日 時：2014年3月8日（土）13：30～16：30

*場 所：瀬戸蔵・4階多目的ホール

*プログラム

第1部 陶磁器産地の地域づくりと産業振興

基調講演 「やきものの里をめぐる、いま想うこと」

古池嘉和氏（富山大学芸術文化学部）

事例報告1 愛知県瀬戸市の取組 森本英裕氏（瀬戸市産業課）

事例報告2 岐阜県多治見市の取組 大前健史氏（多治見市産業観光課）

第2部 トークセッション

「陶磁器産地の地域活性化を考える」

司 会：小林甲一

パネリスト：古池嘉和氏

伊藤幸生氏（愛知県陶磁器工業協同組合）

加藤智也氏（山只華陶苑）

佐藤友彦氏（瀬戸市産業課）

中箴里美氏（多治見市産業観光課）

*『NGU地域政策研究』第6号を2013年12月に発刊

主な内容：

はじめに：「働くこと」と地域をつなげる

—せと・しごと塾5周年に寄せて—（小林甲一）

I 〈せと・しごと塾5周年記念事業〉 「地域政策研究フォーラム05」報告

“しごとづくり”でまちづくり ⇒ ⇒ そして

地域づくりで“しごとづくり” in せと （2013年2月17日開催）

第1部 地域づくりと“しごとづくり”

基調報告：“しごとづくり”×地域づくりの定理（小林甲一）

基調講演：「せと・しごと塾」の成果と課題—5年間を振り返って—

（せと・しごと塾 塾長 小坂英雄）

第2部 トークセッション「地域づくり×“しごとづくり” in せと」

セッションⅠ：赤津窯めぐり協働プロジェクトに参加して

セッションⅡ：卒塾生と塾生が語る“しごとづくり”の今後

《シリーズ：地域の医療・介護・福祉を考える②》

II 「高齢者保健福祉」から「地域包括ケア」への展開

—介護・医療の連携をめぐる—（小林甲一・市川 勝）

III 地域における高齢者見守りシステムの構築とその可能性（村上寿来）

2. 都市政策プロジェクト研究

<p>■メンバー</p>
<p>水野晶夫（代表）、名城邦夫、十名直喜、笠井雅直、水田健一、佐々木健吾、井澤知旦</p>
<p>I. 活動概要</p> <p>名古屋学院大学は2007年4月に、名古屋市熱田区に名古屋キャンパスを開設し、経済学部をはじめとする3学部と本部を移転させた。そして、文部科学省の現代的教育ニーズ取組支援プログラムに本学経済学部の『『地域創成プログラム』の実践―「もの・まちづくり」をテーマとした地域間交流へー』が選定され、拠点活性化と地域間交流が本学の社会貢献事業において重要なテーマとして位置づけられるようになった。</p> <p>さらに、同年10月1日に大学と名古屋市との間で「連携協力に関する協定」が締結され、また、持続可能な事業を推進するため、名古屋市との間に、地域連携協議会も設立した。こうした名古屋を中心とした地域連携事業の学術的側面を担う研究組織が、この「都市政策プロジェクト研究」であり、名古屋の地での地域連携事業の理論的基礎を築き、名古屋はもちろん、瀬戸を含む大名古屋圏の活性化と各地区の結びつきを学術的側面から強化することを目標としている。</p>
<p>II. 2013年度活動報告</p> <p>①都市養蜂とまちづくりに関する調査・研究 ②世界各国におけるオープンカフェの調査・研究 ③研究報告書</p> <p>『NGU都市政策研究第7号』2014年3月発行</p>